

平成30年度「長久手市役所の仕事」通知表”の作成
 ～長久手市行政評価・外部評価～⑦（平成30年8月2日）開催概要

開催概要	
会議等の名称	平成30年度行政評価・外部評価⑦ 「ふるさと寄附金推進事業」【財政課】
開催日時	平成30年8月2日（木） 午前9時35分から午前10時35分まで
開催場所	市役所西庁舎2階 第7・8会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者> ・行政改革推進委員 石橋健一、森田直美、島田智子 ・外部評価委員 下村紗世、森田圭柊 <担当課> 総務部長 青山 均、総務部市長兼財政課長 浦川 正、同課課長 補佐 嵯峨 剛 <事務局> 行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課主任 加藤優 作
傍聴者人数	2人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・税の流出が多いことに驚き、危機感を持つ必要があると感じた。 ・B票の評価では達成度「3」だが、流出が多い状況のため、もっと目標値を大きくしてほしい。 ・実質の担当者が1人では少ないように思う。 ・職員は、専従化した方がよい。 ・目的を持って事業を実施し、返礼品に頼らないという方向性は、よい。 ・返礼品について、長久手市をアピールし、できる限り費用のかからないものがよい。例えば、長久手市といえば、モリコロパーク、トヨタ博物館、古戦場などがあるため、市の特徴的なこととコラボレーションして、又は、市の事業の目的毎に集めるクラウドファンディングの目的にすることもよいと思う。 ・長久手市らしい事業に対して寄附、賛同を呼びかけるかたちがよ
-----------------	--

	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングの要素を取り入れることに賛成である。 ・具体性があれば寄附する側も何に使われているかがわかり、寄附しやすいと思う。 ・長久手市は、「文化・芸術のまち」であり、特徴であると思うため、文化・芸術を押し出した事業に寄付をつのる方法もある。 ・庁舎内だけでなく、市民や市民団体が名乗りをあげた事業についても寄附、賛同を集めることは可能と思う。 ・寄附金を「ふるさとづくり事業」に充てるとしているが、「ふるさとづくり事業」という表現について、抽象的でわかりづらい。 ・目的別に寄附を募ることは非常によい方向である。A票の基本情報・総合計画「みんなの力を結集する自治と協働のまち」のため目的別の寄附にしたらい。 ・目的別に寄附を募るとなると成果指標について、評価軸は変わってくると思う。平成31年度以降変えるべきである。 ・協働事業に対する寄附を募り、成果、評価について、言及し、どのように事業が成功しているのかというプロセスにより評価してほしい。 ・新しいかたちの市民の活動を応援するスキームをつくることは、全国へのアピールにもなると思う。ぜひ新しい制度をつくり全国から寄附を集めてほしい。協働の質の向上にもつながると思う。 ・市内からの寄附があっても。長久手市は移住者が多いため、寄附することにより愛着が持てると思う。 ・流出が多いことを含めたこの事業について、広報などの周知をもっとした方がよい。
--	---

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・システム（制度設計）変更されている最中のため、現在の評価としては、妥当と思うが、次年度以降について、システム（制度）設計、評価の変更等が必要と思う。 ・市民が愛着を持ってもらえるように考えシステム設計してほしい。 ・「みんなの力を結集する自治と協働のまち」に資するような事業にしてほしい。
---------------	---